

大阪PCB廃棄物処理事業の操業状況について

1. 操業状況

(1) 搬入実績(平成18年10月～平成30年11月末)

平成18年10月から平成30年11月末までのPCB廃棄物搬入実績は、(表-1)のとおりトランス類が2,624台(H29.12末:2,550台)、コンデンサ類が76,491台(同:72,692台)、廃PCB等が1,579本(同:1,426本)となっています。

近畿2府4県で登録されているPCB廃棄物のうち、トランス類では約94%(同:92%)、コンデンサ類では約97%(同:92%)、廃PCB等では約91%(同:82%)が搬入されました。

表-1 年度別の搬入実績

種類	年度	滋賀県	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	大阪府	大阪市*2	合計
トランス類 (台)	18	-	-	-	-	-	68	68	68
	19	-	-	-	-	-	332	332	332
	20	-	6	-	-	-	306	257	312
	21	2	8	74	-	6	290	116	380
	22	3	28	99	6	14	252	92	402
	23	1	22	79	48	8	101	77	259
	24	3	19	18	4	25	118	52	187
	25	3	20	28	31	1	186	81	269
	26	4	11	21	13	-	76	43	125
	27	-	5	27	4	14	38	27	88
	28	-	15	24	-	23	21	17	83
	29	-	-	28	2	1	45	38	76
	30年11月末	-	2	25	-	1	15	13	43
	合計		16	136	423	108	93	1,848	1,213
登録数		16	142	475	109	97	1,945	1,259	2,784
搬入実績		100.0%	95.8%	89.1%	99.1%	95.9%	95.0%	96.3%	94.3%
コンデンサ類 (台)	18	-	-	-	-	-	2,096	2,096	2,096
	19	-	-	-	-	-	4,575	4,575	4,575
	20	52	87	245	9	-	5,015	2,649	5,408
	21	493	1,014	2,270	254	546	1,831	458	6,408
	22	598	525	2,462	156	563	2,228	566	6,532
	23	655	770	2,377	179	428	1,784	183	6,193
	24	588	1,271	2,546	269	513	2,527	293	7,714
	25	1,257	845	3,800	338	306	2,373	506	8,919
	26	457	736	2,834	355	145	1,709	322	6,236
	27	252	804	3,046	271	325	2,210	682	6,908
	28	271	1,878	2,828	159	210	1,445	356	6,791
	29	188	2,166	1,859	58	57	1,760	713	6,088
	30年11月末	36	387	757	51	44	1,348	236	2,623
	合計	4,847	10,483	25,024	2,099	3,137	30,901	13,635	76,491
登録数	4,998	10,701	25,590	2,189	3,263	32,487	14,160	79,228	
搬入実績		97.0%	98.0%	97.8%	95.9%	96.1%	95.1%	96.3%	96.5%
廃PCB等 (本)	18	-	-	-	-	-	20	20	20
	19	-	-	-	-	-	69	69	69
	20	-	5	-	-	-	88	82	93
	21	1	5	44	1	-	30	28	81
	22	5	-	21	-	-	57	3	83
	23	2	10	51	-	6	111	46	180
	24	62	10	30	-	3	193	144	298
	25	41	10	11	2	4	161	81	229
	26	4	13	56	-	-	13	4	86
	27	8	4	23	-	2	41	17	78
	28	12	10	29	1	1	38	18	91
	29	5	35	60	-	5	45	22	150
	30年11月末	3	16	55	2	4	41	30	121
	合計	143	118	380	6	25	907	564	1,579
登録数	161	137	414	8	41	980	598	1,741	
搬入実績		88.8%	86.1%	91.8%	75.0%	61.0%	92.6%	94.3%	90.7%

*1 ドラム缶等本数

(登録台数は、平成30年3月末現在)

*2 大阪府に含まれる内数

(2) 中間処理実績等(平成 18 年 10 月～平成 30 年 11 月末)

平成 18 年 10 月から平成 30 年 11 月末までの P C B 廃棄物処理実績は、(表-2)のとおりトランス類が 2,604 台(H29.12 末: 2,527 台)、コンデンサ類が 71,017 台(同:67,338 台)、廃 P C B 等が 1,527 本(同:1,366 台)となっており、近畿 2 府 4 県で登録されている P C B 廃棄物のうち、トランス類 94% (同:91%)、コンデンサ類 90% (同:85%)、廃 P C B 等では 88%(同:78%)が処理されました。

トランス類については、平成 21 年度をピークに台数は減少傾向、重量は平成 22～28 年度は 300t～400t で推移しています。小型トランスから大手多量保管者が所有する大型物に推移してきており、平均重量では平成 21 年度は 1.06 t ですが、特に平成 28 年度は電鉄会社の 20t クラス 5 台を含め大型物の処理が進み平均重量でも 4.1 t となっています。平成 29 年度は、残存物に 20t を超えるものが少量であったこと等により平均重量は 1.9t となりましたが、平成 30 年度は 20t クラスのトランス 2 台の処理が完了しましたので、平均重量は 4.4t となり、12 月以降は前年程度の処理を見込んでいます。

コンデンサ類については、平成 24・25 年度をピークに減少傾向にあります。平均重量では平成 24 年度は 54.4kg、平成 28 年度は 33.5kg、掘り起し活動により登録されるコンデンサ類も 10kg 以下の小型電気機器の割合が多く平成 30 年度 11 月末の処理実績の平均は 31.9 kg となっています。

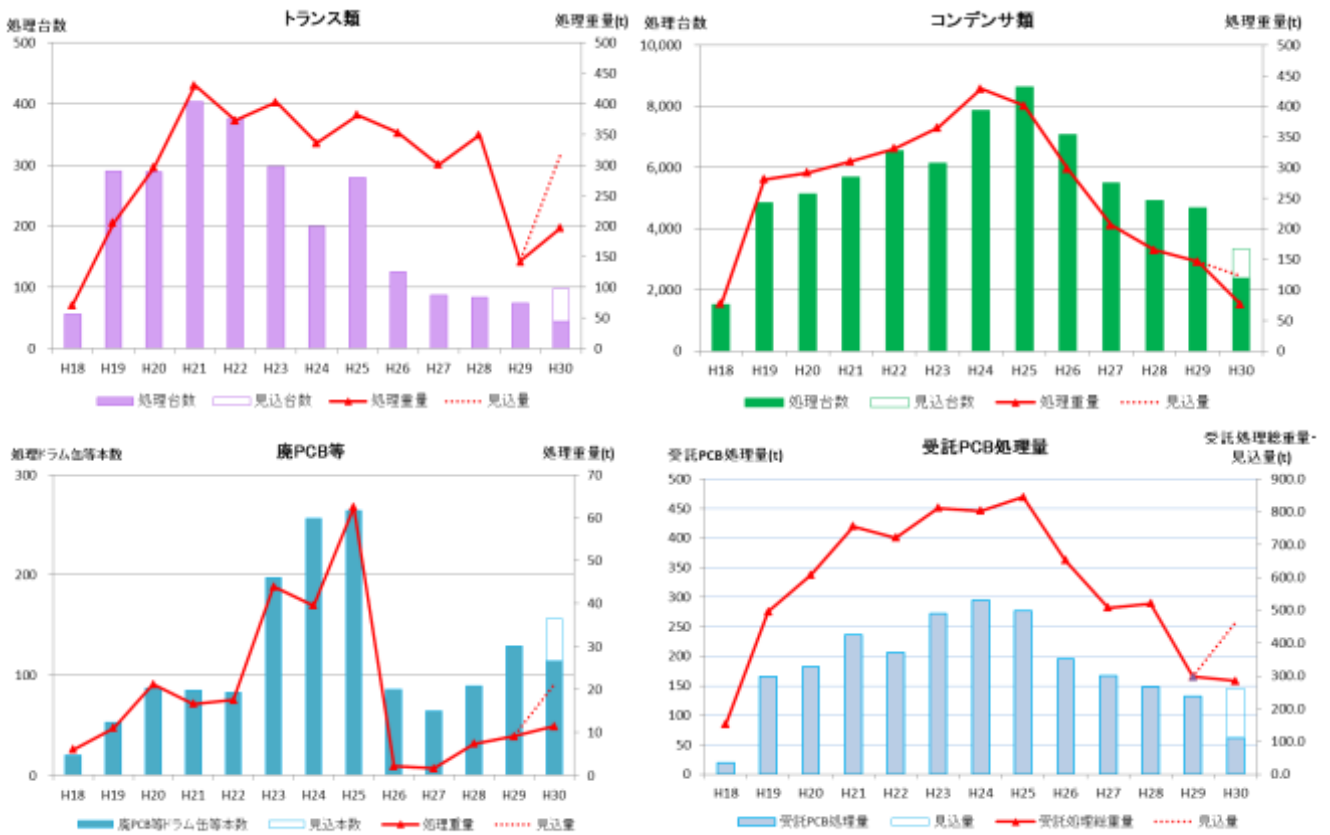
全体として、残りが 10%程度となる中で契約が難航するほか、処理手間物・困難物等(大型物等搬出困難物、P C N 油を含んだトランス、コンクリート固化品、組成不明油、P P コンデンサ(少量保管者分のみ。))により、搬入までの期間や処理に時間を要していますが、引き続き安全確実に処理を行い、早期処理を推進してまいります。

なお、処理手間物・困難物等の台数・処理方針等については、後段(P22～P25)に状況を記載しています。

表-2 年度別の中間処理完了実績等

種別	年度		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30 11月末	計
	受託処理 (中間処理 D票)	トランス類	処理数(台)	56	290	289	404	376	297	199	279	125	87	84	74	44
処理重量(t)			70.4	205.0	295.9	429.9	372.6	402.6	335.7	381.7	352.4	300.3	348.9	142.1	197.5	3,835.0
コンデンサ類		処理数(台)	1,513	4,862	5,136	5,692	6,557	6,152	7,873	8,636	7,091	5,507	4,931	4,682	2,385	71,017
		処理重量(t)	77.0	280.4	291.5	309.8	330.9	364.9	428.5	400.8	297.5	205.7	165.0	146.2	76.0	3,374.2
廃PCB等		処理台数等(本)	20	53	87	85	83	197	256	264	86	64	89	129	114	1,527
		処理重量(t)	6.0	11.0	21.2	16.6	17.5	43.9	39.5	62.4	2.1	1.6	7.3	9.1	11.4	249.6
処理重量計(t)		153.4	496.4	608.6	756.3	721.0	811.4	803.7	844.9	652.0	507.6	521.2	297.4	284.9	7,458.8	
受託PCB処理量(t)		19.7	165.7	181.9	236.5	206.0	272.8	295.4	276.9	195.7	167.2	147.2	132.1	61.2	2,358.3	

図一 中間処理実績等



(3) 払出実績(平成 18 年 10 月～平成 30 年 11 月末)

1) 有価物・廃棄物

有価物・廃棄物の払出実績は(表-3)に示すとおりであり、これらは(表-4)に示す方法で再資源化しています。

表-3 年度別の払出実績

区分		年度												
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30 11月末
有価物払出実績		100	593	663	849	724	810	761	666	485	433	429	397	277
内訳	劣化溶媒 *	53	372	375	479	386	433	425	318	118	115	131	134	110
	鉄	39	179	230	293	261	294	262	262	293	256	236	214	140
	銅	4	17	30	40	37	42	36	45	38	32	34	22	17
	その他*1	4	25	28	37	40	41	38	41	36	30	28	27	10
廃棄物払出実績		100	638	903	1,046	908	1,252	1,258	1,160	867	828	713	636	296
内訳	塩酸	79	419	550	671	597	713	748	724	522	502	442	408	186
	ビフェニル	15	133	147	190	157	208	197	221	164	143	112	106	45
	トリクロロベンゼン	0	30	50	66	60	61	56	59	44	55	43	33	15
	屑子・ガラスくず	3	16	18	20	17	21	22	19	16	12	11	9	4
	活性炭汚泥	0	0	30	20	10	20	22	27	32	26	31	19	12
	その他*2	3	40	108	79	67	229	213	110	89	90	74	61	34

* 劣化溶媒：脱塩素化分解の反応溶媒として使用した鉱油

*1 その他：アルミ、ステンレス等

*2 その他：木酢液、廃アルカリ水、分析廃水、炭化物、廃プラスチック等

2) 廃棄物等の再資源化方法

表－4 払出している廃棄物等の再資源化方法

廃棄物等	再資源化方法
劣化溶媒	工業用燃料
塩酸	飛灰、スラッジ、汚染土壌の金属抽出剤として利用
	汚泥処理（中和）剤として利用
ビフェニル	他の廃油等と混合の後、セメントメーカーで燃料として利用
	他の廃油等と混合の後、助燃油として利用
トリクロロベンゼン	高炉用ペレット製造又はセメント原料製造工程の原燃料
碍子・ガラスくず	再生砕石等として利用
活性炭汚泥	路盤材として利用

(4) エリア間移動による効率的な処理の推進

平成30年11月末時点でのエリア間移動処理の実績及び今後の計画は(表－5)のとおりです。

表－5 エリア間移動処理の実績及び今後の計画

(処理台数)

区分	分類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計	
トランス類	新幹線車載トランス (豊田エリアから)	計画	10	8	6	6	0	0	30
		実績	10	8	6	6	-	-	30
コンデンサ類	特殊コンデンサ (北海道エリアから)	計画	0	0	97	140	140	123	500
		実績	0	0	70	0	-	-	70
	特殊コンデンサ (豊田エリアから)	計画	9	70	68	120	120	113	500
		実績	9	70	37	1	-	-	117
	PPコンデンサ (豊田事業所へ)	計画	296	2,368	2,010	1,326	0	0	6,000
		実績	296	2,368	2,054	253	-	-	4,971

(5) 運転廃棄物

平成30年11月末時点での運転廃棄物の処理実績は(表-6)のとおりです。

表-6 運転廃棄物処理実績

年度	種別	無害化認定施設							自所処理							他事業所 (5000ppm超)			
		廃活性炭	保護具・ シート類	コンクリー ト屑	タール・ 木酢	廃アルカリ	廃油	廃油 (廃TCB)	合計	廃アルカリ	廃活性炭	タール・ 木酢	配管材	コンクリー ト等	合計	VTR/パッチ数実績		東京	北九州
																運転 廃棄物	全パッチ		
平成24年度	本数	0	0	0	0	20	0	0	20	0	12	51	101	0	164	42	556	0	0
	重量(t)					4.0			4		1.8	10.2	15.2		27				
	PCB処理量(kg)					2			2		360	71	<1		432				
平成25年度	本数	0	0	0	0	169	0	0	169	0	34	34	128	0	196	45	564	0	0
	重量(t)					33.8			34		5.1	6.8	19.2		31				
	PCB処理量(kg)					33			33		1,020	48	<1		1,069				
平成26年度	本数	1,007	0	0	0	199	129	0	1,335	25	4	58	137	0	224	53	462	0	0
	重量(t)	100.7				39.8	25.8		166	5.0	0.6	11.6	20.6		38				
	PCB処理量(kg)	5				18	27		50	35	120	81	1		237				
平成27年度	本数	288	624	0	51	177	48	0	1,188	91	49	60	116	0	316	85	456	64	32
	重量(t)	28.8	35.6		10.2	35.4	9.6		120	18.2	7.4	12.0	17.4		55			10	2
	PCB処理量(kg)	3	6		7	25	10		52	127	1,470	84	<1		1,682			1,920	28
平成28年度	本数	192	720	0	0	192	48	0	1,152	84	76	136	61	0	357	92	445	0	276
	重量(t)	19.2	41.0		0.0	38.4	9.6		108	16.8	11.5	27.2	9.3		65			0	16
	PCB処理量(kg)	2	8		0	27	10	0	47	118	2,300	190	<1		2,608			0	256
平成29年度	本数	240	660	56	82	205	32	28	1,303	64	46	107	100	0	317	85	426	208	240
	重量(t)	24.0	37.6	8.4	16.4	41.0	6.4	5.7	139.6	12.8	6.9	21.4	15.0		56.1			31.2	13.2
	PCB処理量(kg)	3	7	<1	12	29	7	<1	57.4	90	1,380	150	<1		1,620			6,240	211
平成30年度 上期	本数	80	414	0	17	90	20	56	677	38	24	32	29	0	123	34	160	144	64
	重量(t)	8.0	23.6		3.4	18.0	4.0	11.5	68.5	7.6	3.6	6.4	4.4		22.0			21.6	3.5
	PCB処理量(kg)	<1	5		2	13	4	<1	26	53	720	45	<1		818			4,320	56
10月	本数	0	120	0	0	38	8	7	173	0	8	36	28	0	72	23	49	32	48
	重量(t)		6.8			7.6	1.6	1.4	17.5		1.2	7.2	4.2		12.6			4.8	2.6
	PCB処理量(kg)		1			5	2	0	8		240	50	<1		291			960	42
11月	本数	0	120	0	0	90	0	0	210	8	12	12	6	0	38	10	46	32	0
	重量(t)		6.8			18.0			24.8	1.6	1.8	2.4	0.9		6.7			4.8	
	PCB処理量(kg)		1			13			14	11	360	17	<1		388			960	
12月	本数																		
	重量(t)																		
	PCB処理量(kg)																		
平成30年度 (4月~11月) 実績累計	本数	80	654	0	17	218	28	63	1,060	46	44	80	63	0	233	67	255	208	112
	重量(t)	8.0	37.3		3.4	43.6	5.6	12.9	110.8	9.2	6.6	16.0	9.5		41.3			31.2	6.2
	PCB処理量(kg)	<1	7		2	31	6	<1	47	64	1,320	112	<1		1,497			6,240	99

(注)PCB 処理量はPCB濃度を以下のとおりとして推計

(無害化処理)

換排気用活性炭:51mg/kg(H26)、111mg/kg(H27)、保護具・シート類:182mg/kg、タール・木酢:713mg/kg、

廃アルカリ:409mg/kg(H24)、977kg/mg(H25)、457mg/kg(H26)、705mg/kg(H27)

廃油:1,041mg/kg(H25)

(自所、他事業所処理)

廃アルカリ:7,000mg/kg、廃粉未活性炭:20w/w%、タール・木酢:7,000mg/kg、配管材:50mg/kg、ウエス・キムタオル:16,000mg/kg